

【高等学校用】

令和7年度学校評価 計画

学校名	佐賀県立鳥栖工業高等学校 全日制課程		
1 前年度 評価結果の概要（簡潔に）	・就職・進学に向けた対策として、実際の職場環境や仕事の流れを体験できる機会を多く提供した。その結果、卒業生全員が進路を決定することができ、希望する進路を実現するための支援が十分に行えたと考える。 今後も県内企業との連携を強化し、より多くの生徒が安心して地元でのキャリアを築けるよう支援していきたい。 ・本校への志願者数は昨年度より増加したものの、依然として志願倍率は1倍を下回っている。地域との連携を強化し、地元企業や自治体との協力のもとで特色ある教育プログラムを実施することも、志願者増加につながると考えられる。今後も引き続き、学校全体で魅力の発信に努めていきたい。		
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	広い視野と豊かな創造力を持ち、自ら学ぶ意欲と自らを律する力を備え、心身共にたくましく個性豊かで人間愛に満ちた、社会に貢献できる工業技術者の育成をします。		
3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
4 本年度の重点目標	1. 基本的生活習慣の確立 2. 基礎学力の向上 3. 資格取得・コンテストへの参加奨励 4. 部活動・学校行事の活性化 5. 朝読書の定着 6. ICT利活用教育の推進 7. 志を高める教育の推進		

5 重点取組内容・成果指標			中間評価		最終評価				主な担当者				
(1)共通評価項目													
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価					
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言				
●学力の向上	○授業の充実、指導方法の工夫・改善に関する取り組み	○生徒の授業に対する理解度 85%以上を目指す		・全職員が参加する相互授業参観を計画し、授業の充実、指導方法の工夫・改善につながる取り組みを各教科で行う ・1人1台端末の利用を推進し、生徒の理解がより深まる実践的指導を行う					教務主任 教科主任 学年主任				
	○自らの将来に対する志を高め、希望進路の実現	○就職・進学希望を100%実現する ○進路指導に対する満足度 90%以上を目指す							・学習計画表を配布し、定期考査、模擬試験等に向けた家庭学習の定着を図る ・年間5回実施するキャリア・パスポートを基に、個々に合った進路情報の提供、進路指導の充実を図る				進路主任 教科主任 学年主任
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権意識の向上が感じとれた生徒を90%以上にする		・人権・同和教育講演会を行う ・情報の授業、LHRにおいて、情報モラル教育、人権教育を行う ・すべての教育活動で人権に配慮した取組を行う					人権・同和教育担当者 学年主任				
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○悩みを相談できる教職員がいるという生徒を80%以上にする							・いじめに関するアンケートを年間に2回以上行う ・いじめ対応についての研修や啓発活動を年間に2回以上行う				教育相談主任 生徒指導主任 学年主任
	◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動の推進	○佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかという感じという生徒80%以上を目指す ★郷土の人材を活用した講演会等、全学年対象に年間1回以上行う							・佐賀県内各地域に関わる郷土学習資料や「佐賀語り」等を活用した教育活動に取り組み ・全学年対象に年間1回以上、郷土の歴史や文化を学ぶ講演会を行う				図書主任 3年担当
●健康・体づくり	㊦「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	㊦「健康に良い食事をしている」生徒を80%以上にする ○毎日、朝食をとる生徒80%以上を目指す		・生活状況調査、食に関する意識調査を行う ・全学年に食育に関する講演会を行う ・保健だよりを定期的に発行し、食に関する意識を高める					保健主事 食育担当者				
	㊦「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故件数0(ゼロ)を目指す							・交通安全に関する講演会・講話を行う ・自転車安全点検を年間に2回以上行う ・職員による街頭指導を定期的に行う				生徒指導主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上		・月曜日を定時退勤日とする ・学校閉庁日を設定する ・部活動休業日を設定する ・会議の精選や会議時間の短縮を図る					管理職				
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員80%以上 ○支援が必要な生徒に十分対応できたと回答した教員80%以上		・特別支援教育に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、関係者間での情報共有					教育相談 学年主任 管理職				
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目													
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言				
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★工業技術・スポーツ分野における全国大会等での上位入賞 ★県外からの入学志願者数の増加	★自分の学校を中学生に勧めることが出来る生徒の割合80%以上、教職員の割合90%以上を目指す ★全国大会等での上位入賞者数、5名以上を目指す ★県外からの入学志願者数、募集定員の10%以上を目指す		・工業技術・スポーツ分野において、生徒の可能性・潜在能力を十分に引き出す指導を適正かつ科学的に行う ・学校のホームページや学校紹介リーフレット等を活用し、情報発信を効果的に行う									
○工業技術の習得	○資格取得の奨励	○各生徒が1つ以上の資格を取得する								・各工業科において、資格取得を奨励し、その必要性と将来性を紹介するとともに補習体制を強化する			
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり													
6 総合評価・次年度への展望（簡潔に）													